

ふれあいとおもいやりのあるまち

おやま

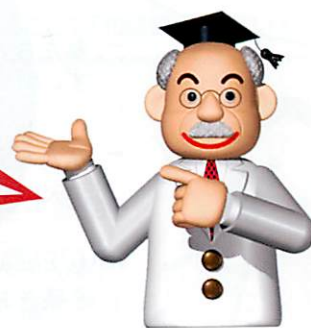
こころとこころで向き合っていますか!

身近なところから考えてみよう



おやがくしゅう
親学習プログラム

この写真は、4月に小学生になる子どもをもつ
保護者の皆さんが、「親学習プログラム」を受講し
ているところじゃよ。子育てに役立つコミュニケー
ションを楽しそうに学んでおるじゃろ。



じんけん博士

小 山 市
小 山 市 教 育 委 員 会



子どもたちの「いじめゼロ」に向けて、大人の会議が行われているのをご存じかな？

おやまし とうぼうし しみんかいぎ 小山市いじめ等防止市民会議

へいせい ねんど しみんかいぎ ようす 平成27年度の市民会議の様子

へいせい ねんど しみんかいぎ ようす 平成25年度の市民会議の様子



いじめを生む社会について、大人が自分自身の問題として考える必要があるという考えから、『おやまのよい子を育てる大人宣言』が採択されました。

◇小山市いじめ等防止市民会議は、子どもの日常生活で生じた「いじめ」などを未然に防ぐとともに、「いじめ撲滅」を目指すものです。

◇子どもの社会は大人の社会を映しているという考えから、子どもの笑顔があふれる小山市を目指し、各種関係機関や学識経験者など幅広い層が参画し、目的を達成するために設置された会議です。

◇平成25年度にスタートしてから、毎年、開催しています。



へいせい ねんど しみんかいぎ ようす 平成26年度の市民会議の様子



今回は、「大人の言葉遣い」について課題や解決策をグループごとに話し合い発表しました。さらに、それぞれの立場で取り組めることを考えました。

☆大人の言葉遣いの影響力について
大人の言葉遣いは子どもへの影響が大きい。家庭や地域でコミュニケーションを図り、子どもとたくさん話そう！

☆表情と言葉について
表情と言葉にずれがあると気付いた。「和顔」を鏡で確認するなど、表情を意識して会話するよう心がけよう！

☆言葉遣いについて
言葉が悪かったり、きつかったりする事が多いので、温かい言葉を優しい口調で話そう！

※「和顔」とは、和やかな表情という意味です。和やかな表情で思いやりの言葉を発することを「和顔愛語」と言います。

☆大人の姿勢について
マイナスイメージの言葉（否定・命令・決めつけなど）や日本語の乱れに気付いた。プラスイメージの言葉を意識して使おう！

各関係機関が取り組んできたことを報告しました。そして、これから大人はどのようなことができるかについて話し合ってきました。

☆ためらいなく愛情をもって子どもを注意できる大人になりましょう！

☆大人同士で、「ダメなものはダメ」と言える人間関係を築きましょう！

ひとひと しんらいかんけい きづくことが何より大切！

おやまのよい子を育てる大人宣言

子どもの社会は、大人の社会を映しています。時代や環境が変わっても本当に大切なものは変わることなく存在します。その大切なものを私たち大人が、私たち自身の「背中」で伝えていかなければなりません。子どもの笑顔があふれる小山市を目指して、家庭、学校、地域それぞれの場で誠意と創意をもって行動します。ここに次のことを決意し、宣言します。

- 一、私たち大人は、地域のイベントに進んで参加し、子どもと一緒にたくさん遊び、信頼を深め、学び合います
- 一、私たち大人は、子どものよいところを見つけて声をかけて褒め、悪いことに気付いたら迷わず注意します
- 一、私たち大人は、人の失敗を悪く言ったり、あざわらったりせず、励まし、助け合います
- 一、私たち大人は、子どもが本音で話し合える時間をつくり、安心できる家庭にします
- 一、私たち大人は、互いにだめなものはダメと言える大人社会を築きます

※「背中」とありますが、子どもときちんと向き合うという意味が込められています

平成25年11月11日
小山市いじめ等防止市民会議

花言葉：誠実 優しい温かさ

「子どもたちのために何ができるのか」について真剣に話し合ったのよ。



寒川尼ちゃん



政光くん

子どもの手本になるように生活していこうという決意が表れているね。

かい じん けん こう えん かい
第37回人権講演会から

講師 海老名 香葉子さん (エッセイスト)

やす は
 泰葉さん (シンガーソングライター)



2015年 8月17日(月)

於/小山市立文化センター

せん ご ななじゅうねん よ へい わ うた
“戦後七十年に寄せて 平和の歌”

お陰様で私はもう一か月で82歳です。上野の山に慰霊碑を建てました。「時忘れじの塔」というのは平和の母子像でございまして、憩いの広場に今建ってます。とってもかわいいんですよ。昭和19年、私は集団疎開でなく、縁故疎開しました。沼津のおじの所に行きました。3月9日の夜、「退避！」という声で山に登って行きました。真夜中、凍てつく寒空の下。私は正座して、「どうか。みんなが無事でいられますように。」と小5の私は必死に拝みました。「東京の空が赤いぞ。」翌る日学校へ行ったら友達に、「本所深川は全滅だってよ。」って言われたんです。4日目、すぐ上の兄がポロポロに焼け爛れて立っていました。「ちい兄ちゃんでしょ。」と言ったら、「香葉子、みんな死んじゃったよ。」と兄はポロポロ泣きました。「僕だけ助かっちゃったんだ。ごめんね、ごめんね。」と何度も泣きました。春先になって、親の骨の行方を捜しました。死亡者名簿を探したけれど、真っ黒こげになった人達は載るはずはありません。親が行方不明の子どもは戦災孤児ではないのでパン一つもらえませんでした。去年、ある日起き上がろうとしたとき起き上がれなくて、でもその時母の声が聞こえ、手をひっぱ張ってくれた。夢中で、「母ちゃん、母ちゃん。」と言っていました。私80歳過ぎです。38歳で亡くなった母が本当に出てきて私を助けてくれた。涙がこぼれました。親ってありがたい。38歳で死んだ母がいつまでたっても子どもを想っているのです。



(泰葉さん登場) 皆様こんにちは。ある朝、母が泣いているんですよ。夢の中に祖母が出てきて、手を差し伸べてくれたと言うのです。母の思いは強く崇高なものなのだと思います。このことで母を愛おしく思え、おばあちゃんにも愛いたくなりました。戦争という悲惨な経験をした母は、家族をととても大切にしました。父も私達を大切にしてくれて、特に弟の林家三平2代目と一緒にいられる時間が短いのを何となくからだわかっていて感じでした。二人の姿を見ると、父が背中では何かを教えているようでした。そういう平和な風景も戦争は奪ってしまいます。私は父と弟の風景、平和で幸せで愛がいっぱいある景色を歌にしました。戦争体験をした母の話からどんなに悲惨だったかということを知ったら、私たちに何ができるのか、私たちの世代に何が課せられているのかを考えるようになりました。私は音楽で平和を訴えていこうと思っています。そしてもうひとつ、平和って一人一人が手を取り合って笑顔でまあい地球を作ることだと思います。(泰葉さんの伴奏で「ふるさと」を会場全体で合唱)

(人権講演会講話内容からリーフレット用にまとめたものです)

2015年12月発行



お やま し やく しょ じん けん すい しん か
 小山市役所人権推進課
 ☎0285-22-9292

お やま し きょういく い いん かいしやうがいがくしゅう か
 小山市教育委員会生涯学習課
 ☎0285-22-9663

じん けん そう だん
人権相談

まい つき だい きん ぶつ び よやくふよう ぎぜん じご じ
毎月第2金曜日 (予約不要) 午前10時～午後3時
 お やま し やく しょ ない ばしょ じんけんすいしんか と あ
 小山市役所内 (場所は人権推進課にお問い合わせください。)

ホームページ「小山人権の扉」

URL <http://www.oyama-tcg.ed.jp/~jinken/>